

平成29年度事業報告書

岱山苑デイサービスセンター

岱山苑デイサービスセンターが在宅福祉の拠点として地域と密着し、複雑多様化する地域福祉ニーズに対応し利用者の健康管理に気を配りながら生きがいの発見等の手助けをし、地域及び在宅での生活がより豊かに送れるよう支援を実施しました。

- ① 通常併設型1（月曜日～金曜日 定員30名）
- ② 通常併設型2（土曜日 定員25名）

平成29年度、玉名市で介護予防・日常生活支援総合事業「総合事業」が始まり、4月から介護保険の更新者または対象者が逐次移行されました。また、それに伴い生きがい活動支援事業（玉名市福祉事業）の利用者がなくなり受託事業を廃止いたしました。

岱山苑デイセンターでは1年間で27名が総合事業へ移行になり、その内20名（75%）が基準緩和型で利用されています。

総合事業には現行相当型と基準緩和型がありますが、現行相当型はこれまでどおりのサービス内容で単価も変わりませんが、基準緩和型はサービス内容が簡素化された分サービス単価が20%減額になり収入が厳しくなっているのが現状です。

年間利用延人数については少しずつですが毎年増加の傾向です。その内、総合事業の新規獲得者が28年度より6割増加しました。そこには総合事業を取り巻く通所事業所の事情が大きく関係しているようです。

現在、デイセンター内では利用者やスタッフの笑い声が絶えません。今後も利用者にとって、「明るく楽しく生きがいになれる」デイセンターでありたいです。